

戦 評

平成19年度 山形県クラブバスケットボール選手権大会  
兼 東北クラブバスケットボール選手権大会 山形県予選会

【女子決勝】

審判： (主審)澤村重吉 (副審)三澤朱貴

|          |    |    |   |    |    |         |
|----------|----|----|---|----|----|---------|
| チームA     |    | 13 | - | 14 |    | チームB    |
| 山形オールスター | 58 | 17 | - | 11 | 56 | YAMASHO |
|          |    | 15 | - | 20 |    |         |
|          |    | 13 | - | 11 |    |         |

<スタート> 山形オールスター： 永井 山浦 渡辺 佐竹 ヘンケルマン  
YAMASHO： 井澤 栗原 日下部 藤島 竹内

ディフェンスは両チームともマンツーマン。ともに立ち上がりリズムがつかめず、3分2-2、5分8-7と相手を突き放す展開にはならない。ようやくオールスターは がゴール下のシュートを決めて10-7とし、引き離すかにみえたが、YAMASHOも が速攻で入れ返し7分10-9、逆にYAMASHOは が連続得点し、9分10-14とするが、オールスターも得点して1Qを13-14で終了。

2Qも同じような展開が続く。2分18-18、5分23-22、8分27-25と双方ともリズムに乗れず拮抗した展開が続くが、残り45秒オールスター が3Pを決め、30-25とやや差をつけて前半を終了。

後半オールスターは の3Pで33-25とここまでで最大の得点差をつける。その後YAMASHO のジャンプシュートで返したあとは、6分までオールスター4~6点のリードで試合が進む。しかしオールスターは のポストプレイで39-33としたあと得点が止まり、その間YAMASHOは と の速攻、 と のジャンプシュートで7分ついに39-41と逆転、さらに8分 のリバウンド・シュートで39-43と4点差をつける。オールスターも のインサイドなどで対抗、45-45で3Qを終了。

4Qも5分まで1~2点差の展開が続くが、オールスターは51-52からの3Pで54-52と逆転すると、その後得点を重ね7分58-52とリードを広げる。追うYAMASHOは のジャンプ・シュートで7分58-54、さらに残り30秒 のジャンプシュートで58-56と迫るが、オールスターはこれ以上の得点を許さず、試合終了。

ともに最後まで自らのペースに持ち込めず苦しい展開であったが、オールスターが昨年

に続き優勝を果たした。

(県クラブ連盟 本間研志)